

令和4年度 事業計画書

社会福祉法人みかり会

令和4年度事業計画書

施設	経営目標	No.	各会議体・委員会・担当者の役割業務（重点目標）	計画
松帆南認定こども園	35. 子ども・高齢者・障害者との「信任」の構築	103	〔自己決定と選択の尊重〕 子どもや高齢者・障害者にとって選択できる環境や選択肢が提示されるなど、「自己決定」が尊重される仕組みや環境づくりの実践及び検証・報告	職員で言い合える関係づくりを定期的に『語る場』の確保をおこなっていく（年12回）
	35. 子ども・高齢者・障害者との「信任」の構築	110	〔発生時の訓練〕 応急処置（あかいかいほちょうれんこう）、災害時等の避難、感染症対応などの訓練の実施	災害時に備えた引き渡し訓練の実施をする（年1回）
	37.地域との「信認」の構築	127	〔環境問題への配慮〕 地域の環境問題に対するの取り組みの実践	SDGsについて情報を掲示し、考える機会をおこなっていく（年4回）
松帆北認定こども園	35.子ども・高齢者・障害者との「信任」の構築	102	〔受容的環境の確立〕 人的・物的両面において、受容的環境を確立し、子ども・高齢者・障害者が信頼感と安心感を持って生活出来ているかの検証・改善と報告	質の向上委員会を中心に話し合いを行い「養護と教育」について深めていく（年6回）
	36.保護者との「信頼」の構築	114	〔保護者等のニーズの把握・理解〕 保護者や家族の声を聞き満足度を把握し、職員参加の下、保育・介護・障害福祉サービス改善の取り組みを推進	保護者に来ていただく行事後にアンケートを実施し公表する（年3回）
	37.地域との「信認」の構築	122	〔地域での福祉の推進〕 法人内各施設が、学校教育への協力、ボランティアの受入れ等、福祉マンパワーの養成や住民参加による取り組みを行うための支援	感染症対策を十分にしながら、思いやりポイント制度を実施する（月1回）
すくすく保育園	34. 職員・職員の家族との「信頼」の構築	101	〔健全な職場環境の確立〕 ワークライフバランスを意識した職場環境づくりに努めると共に、セクハラ、パワハラのない職場づくりの推進	個々の業務内容を月1回の会議にて把握し、1日1時間の事務時間を有効に使えるよう計画する（年12回）
	35. 子ども・高齢者・障害者との「信任」の構築	105	〔自己決定と選択の尊重〕 子どもや高齢者・障害者にとって選択できる環境や選択肢が提示されるなど、「自己決定」が尊重される仕組みや環境づくりの実践及び検証・報告	日々の活動の記録を検証し月1回自ら振りを行うとともに職員間で意見を交わしながら、検証・改善を行う（年12回）
	35. 子ども・高齢者・障害者との「信任」の構築	111	〔感染症対策の強化〕 感染症の予防・拡大防止のためのマニュアルに基づいた予防対策と必要な薬品や機材の整備	マニュアルに基づいた感染予防、拡大防止に関する職員会議を2か月に1回実施する（年6回）

令和4年度事業計画書

施設	経営目標	No.	各会議体・委員会・担当者の役割業務（重点目標）	計画
多 夢 の 森 こ ど も 園	35. 子ども・高齢者・障害者との「信任」の構築	103	〔自己決定と選択の尊重〕 子どもや高齢者・障害者にとって選択できる環境や選択肢が提示されるなど、「自己決定」が尊重される仕組みや環境づくりの実践及び検証・報告	『自己決定』が尊重される仕組みや環境とは何かを問い、実践の検証を行う(フロア会議毎年12回)
	35. 子ども・高齢者・障害者との「信任」の構築	109	〔感染症対策の強化〕 感染症の予防・拡大防止のためのマニュアルに基づいた予防対策と必要な薬品や機材の整備	委員・管理者を中心にBCMを行う。またそれを下に現場職員が話し合いを行うことで各々が役割を認識し、責任を持って十分な対策を講じていく（年3回）
	37.地域との「信認」の構築	126	〔地域への見える化・見せる化〕 地域に対して法人・施設情報の提供やサービス内容の説明、開かれた（情報開示・提供・公表）仕組みづくりの推進等、地域とのコミュニケーションの強化	保護者の方に協力を得ながら、展示会等のイベントに地域の方も参画いただけるような仕組みを構築していく（年1回）
幼 保 連 携 の 認 定 こ ど も 園	36.保護者との「信頼」の構築	114	〔保護者等のニーズの把握・理解〕 保護者や家族の声を聞き満足度を把握し、職員参加の下、保育・介護・障害福祉サービス改善の取り組みを推進	ブレインにて保護者にいただいた心温まるご意見を発信する（月1回）
	37.地域との「信認」の構築	127	〔環境問題への配慮〕 地域の環境問題に対する取り組みの実践	5歳児活動のゴミ拾いを定期的実施する（年10回） 資源回収プロジェクトを発足し、近隣コープに資源を持って行く（年12回）
	38.地域の学校との「信頼」の構築	132	〔学校との相互理解〕 学校行事への参加や、園（施設）行事・自己評価事業への招待等、“顔と顔の見える関係（世間話ができる関係）づくり”に努め、相互理解を図る	園庭の提供を千代が丘小学校に提案し、小学校に向けて園の案内を行う（年1回）
幼 保 連 携 型 の 認 定 こ ど も 園	34. 職員・職員の家族との「信頼」の構築	101	〔健全な職場環境の確立〕 ワークライフバランスを意識した職場環境づくりに努めると共に、セクハラ、パワハラのない職場づくりの推進	定期的な声掛け、個々の業務の把握を行い、グループ同士の連携が図れるよう、必要に応じてリーダー会議を行う（3か月に一回）
	35. 子ども・高齢者・障害者との「信任」の構築	104	〔子ども・高齢者・障害者満足度の把握〕 子どもや利用いただいている方が常に主体的に満足頂いているかの検証・改善と報告	定期的集まったアンケートをまとめて公表する（年4回）
	37.地域との「信認」の構築	127	〔環境問題への配慮〕 地域の環境問題に対する取り組みの実践	今後も裏山の活動を深め、環境問題への意識を高め、園周辺のごみ拾いも継続して行っていく(月に4回5歳児保育で実施)

令和4年度事業計画書

施設	経営目標	No.	各会議体・委員会・担当者の役割業務（重点目標）	計画
幼保連携型 上高丸 認定こども園	34. 職員・職員の家族との「信頼」の構築	98	〔意欲ある職場環境〕 定期的な個別面接や、会議等で職員に意見を求めるなど、意欲ある職場環境づくりの推進	個別面談を実施する（年間3回以上）
	37.地域との「信認」の構築	120	〔施設の地域への開放と活用〕 「地域共生社会の実現」につながるコミュニティ強化を目的に施設開放・活用・イベントの開催等の地域に開かれた取り組みの積極的な実践	持っている資源を活用した新たな取り組みを実施する（年間1回以上）
	37.地域との「信認」の構築	126	〔地域への見える化・見せる化〕 地域に対して法人・施設情報の提供やサービス内容の説明、開かれた（情報開示・提供・公表）仕組みづくりの推進等、地域とのコミュニケーションの強化	ふれまち協議会や地域の子育てサークル等に情報を発信する（年間3回以上）
幼保連携型 心の森 認定こども園	34. 職員・職員の家族との「信頼」の構築	98	〔意欲ある職場環境〕 定期的な個別面接や、会議等で職員に意見を求めるなど、意欲ある職場環境づくりの推進	ファシリテーターを設置しての、グループ会議を行う（年12回）
	35.こども・子ども・高齢者・障害者との「信任」の構築	105	〔虐待を発生させない体制づくり〕 虐待を発生させないことを目的にチェックリストの活用等、職員が自己の支援について振り返る機会の提供	養護に特化した園内研修の実施を行う（年2回）
	36保護者.との「信頼」の構築	115	〔保護者、地域への説明〕 法人が提供する保育・介護・障害福祉サービス内容について、保護者や地域住民等に対して説明する機会を設ける	教育・保育説明会の実施や、プロジェクトを絡めた行事を開催する（年3回）
小規模 心の森 保育事業	34. 職員・職員の家族との「信頼」の構築	98	〔意欲ある職場環境〕 定期的な個別面接や、会議等で職員に意見を求めるなど、意欲ある職場環境づくりの推進	個人面談を実施する（年2回）
	34. 職員・職員の家族との「信頼」の構築	99	〔健全な職場環境の確立〕 ワークライフバランスを意識した職場環境づくりに努めると共に、セクハラ、パワハラのない職場づくりの推進	個々の業務内容を毎月の会議で把握する（年12回）
	36保護者.との「信頼」の構築	114	（保護者等のニーズの把握・理解）保護者や家族の声を聞き満足度を把握し、職員参加の下、保育・介護・障害福祉サービス改善の取り組みを推進	行事や日常生活におけるアンケートの実施を行い、満足度の把握と課題の抽出・改善に努める（年1回）

令和4年度事業計画書

施設	経営目標	No.	各会議体・委員会・担当者の役割業務（重点目標）	計画
幼保連携型の認定こども園	34. 職員・職員の家族との「信頼」の構築	98	〔意欲ある職場環境〕 定期的な個別面接や、会議等で職員に意見を求めるなど、意欲ある職場環境づくりの推進	担当部署会議において、担当児及び担当プロジェクトについて、語る場を持つ（12回/年）
	35.子ども・高齢者・障害者との「信任」の構築	103	〔自己決定と選択の尊重〕 子どもや高齢者・障害者にとって選択できる環境や選択肢が提示されるなど、「自己決定」が尊重される仕組みや環境づくりの実践及び検証・報告	自己評価時に、担当部署で「自己決定」が尊重される環境の検証をし、見直しをする（年2回）
	37.地域との「信認」の構築	125	〔地域貢献事業の推進〕 社会福祉事業以外の地域における多様（福祉ニーズ以外）な生活課題等、公益的取り組みの実践	地域における自主活動の検討をし、実施する（2回/年）

令和4年度事業計画書

施設	経営目標	No.	各会議体・委員会・担当者の役割業務（重点目標）	計画
花の森 小規模 保育園 サテライト型	34. 職員・職員の家族との「信頼」の構築	98	〔意欲ある職場環境〕 定期的な個別面接や、会議等で職員に意見を求めるなど、意欲ある職場環境づくりの推進	面談以外に、ケース会議の中で意識的に語る場を増やしていく（月1回）
	35.こども・子ども・高齢者・障害者との「信任」の構築	105	〔虐待を発生させない体制づくり〕 虐待を発生させないことを目的にチェックリストの活用等、職員が自己の支援について振り返る機会の提供	年2回、バイブルブックを活用した園内研修を行うとともに、4月にチェックリストを活用した振り返りを行い、意識の改善・向上を図る
	36.保護者との「信頼」の構築	115	〔保護者、地域への説明〕 法人が提供する保育・介護・障害福祉サービス内容について、保護者や地域住民等に対して説明する機会を設ける	月2回以上インスタグラムを更新し、継続した発信を行う（年間24回）
夢の森・上高丸 小規模 保育園 サテライト型	34. 職員・職員の家族との「信頼」の構築	98	〔意欲ある職場環境〕 定期的な個別面接や、会議等で職員に意見を求めるなど、意欲ある職場環境づくりの推進	個人面談を計画し、実施する（年2回）
	35. 子ども・高齢者・障害者との「信任」の構築	102	〔受容的環境の確立〕 人的・物的両面において、受容的環境を確立し、子ども・高齢者・障害者が信頼感と安心感を持って生活出来ているかの検証・改善と報告	質の向上委員会を中心に話し合いを行い、養護について意識を高めていく（年2回）
	37.地域との「信認」の構築	127	〔環境問題への配慮〕 地域の環境問題に対する取り組みの実践	周辺施設と連携し公園掃除を継続していく（週2回）
多夢の森 小規模 保育園 サテライト型	34. 職員・職員の家族との「信頼」の構築	98	〔意欲ある職場環境〕 定期的な個別面接や、会議等で職員に意見を求めるなど、意欲ある職場環境づくりの推進	面談以外に、ケース会議の中で意識的に語る場を増やしていく（月1回）
	35.こども・子ども・高齢者・障害者との「信任」の構築	105	〔虐待を発生させない体制づくり〕 虐待を発生させないことを目的にチェックリストの活用等、職員が自己の支援について振り返る機会の提供	年2回、バイブルブックを活用した園内研修を行うとともに、4月にチェックリストを活用した振り返りを行い、意識の改善・向上を図る
	36.保護者との「信頼」の構築	114	〔保護者等のニーズの把握・理解〕 保護者や家族の声を聞き満足度を把握し、職員参加の下、保育・介護・障害福祉サービス改善の取り組みを推進	行事後（個別誕生会・実践発表・展示会后各1回ずつ）のアンケートを実施し、結果を公表した上で改善に取り組む

令和4年度事業計画書

施設	経営目標	No.	各会議体・委員会・担当者の役割業務（重点目標）	計画
神 陵 台 児 童 館	34. 職員・職員の家族との「信頼」の構築	98	〔意欲ある職場環境〕 定期的な個別面接や、会議等で職員に意見を求めるなど、意欲ある職場環境づくりの推進	情報共有の場として職員会議を行う（年12回）
	37.地域との「信認」の構築	121	〔地域における福祉文化の醸成〕 育成と活動支援を目的とし、子ども・高齢者・障害者との直接的な関わりを意図した地域ボランティアの積極的な受け入れや、学習の機会づくり	地域の方と協働し児童館を通して地域・児童支援につながる活動を開催する（年6回）
	38.地域の学校との「信頼」の構築	133	〔保育・介護・障害福祉サービス内容の研究と実践〕 上記の関わり等連携し、保育・介護・障害福祉サービスの内容を深く研究し専門性を高める	小学校との連携をより密にできるように日頃の関わりを大切にしながらも評議委員会への積極的な参画や運営委員会の開催を行う
千 鳥 が 丘 児 童 館	34. 職員・職員の家族との「信頼」の構築	96	〔経営理念の周知徹底〕 経営理念の周知徹底を図るために、様々な機会を捉えた経営理念の発信（説明）	入社時等に研修に参加できる機会を作る(入社時1回)
	35.子ども・子ども・高齢者・障害者との「信任」の構築	109	〔感染症対策の強化〕 感染症の予防・拡大防止のためのマニュアルに基づいた予防対策と必要な薬品や機材の整備	子どもの感染予防のために、換気、手洗い消毒を徹底する（月1回）
	38.地域の学校との「信頼」の構築	134	〔連携による課題解決〕 学校との連携により、地域の課題を解決	コロナ感染による学級、学校閉鎖等による状況について知る（その都度）
つ ば み の 保 子 育 園 め ば え の 子	35.子ども・子ども・高齢者・障害者との「信任」の構築	106	（子ども・高齢者・障害者満足度の把握）子どもや利用いただいている方が、常に主体的に萬ぞき頂いているかの検証・改善と報告	日常生活において主体的な活動を把握し、個々の満足感や思いを受け止め職員間で協議をするなど、改善と継続を通し質向上に意識を高める。
	36.保護者.との「信頼」の構築	116	（保護者等のニーズの把握・理解）保護者や家族の声を聞き満足度を把握し、職員参加の下、保育・介護・障害福祉サービス改善の取り組みを推進	行事ごとにアンケートの実施を行い、満足度の把握と課題の抽出・改善に努める
	37.地域の学校との「信頼」の構築	128	（地域への見える化・見せる化）地域に対して法人・施設情報の提供やサービス内容の説明、開かれた（情報開示・提供・公表）仕組み作りの推進等、地域とのコミュニケーションの強化	園内の様子や取り組みの内容をHPやSNS等を活用し、活動の過程にきちんと裏付けた発信内容を工夫するなど、具体的な見える化を実施する

令和4年度事業計画書

施設	経営目標	No.	各会議体・委員会・担当者の役割業務（重点目標）	計画
西宮北口こどもの園	34. 職員・職員の家族との「信頼」の構築	99	〔健全な職場環境の確立〕 ワークライフバランスを意識した職場環境づくりに努めると共に、セクハラ、パワハラのない職場づくりの推進	有給取得は年間の計画に組み入れ、タイムカードの休憩時間や定期退勤の管理を行う（毎月）
	35.子ども・高齢者・障害者との「信任」の構築	103	〔自己決定と選択の尊重〕 子どもや高齢者・障害者にとって選択できる環境や選択肢が提示されるなど、「自己決定」が尊重される仕組みや環境づくりの実践及び検証・改善・報告	自己決定の尊重について、職員同士での意見交換や選択肢を増やす改善をする（年10回）
	37.地域との「信認」の構築	126	〔地域への見える化・見せる化〕 地域に対して法人・施設情報の提供やサービス内容の説明、開かれた（情報開示・提供・公表）仕組みづくりの推進等、地域とのコミュニケーションの強化	インスタグラムの更新をしていく（毎月2回以上）
幼保連携型認定こども園 高須の森	35.こども・子ども・高齢者・障害者との「信任」の構築	103	〔自己決定と選択の尊重〕 子どもや高齢者・障害者にとって選択できる環境や選択肢が提示されるなど、「自己決定」が尊重される仕組みや環境づくりの実践及び検証・報告	自己決定からの主体的な活動のできる環境となっているか園内研修として振り返る機会を作る（年3回）
	37.地域との「信認」の構築	121	〔地域における福祉文化の醸成〕 育成と活動支援を目的とし、子ども・高齢者・障害者との直接的な関わりを意図した地域ボランティアの積極的な受け入れや、学習の機会づくり	ボランティアを受け入れるため、依頼業務の抽出会議を設ける（年2回）
	39.養成校・福祉を目指す学生との「信頼」の構築	136	〔養成校に対する丁寧な対応〕 福祉を目指す学生の「実習」に対し、明確な目標と適切な指導を行い、養成校との「信頼」の関係を築く	養成校の先生の視察を受け入れる（年1回）
森のこどもたち	35.子ども・高齢者・障害者との「信任」の構築	104	〔子ども・高齢者・障害者満足度の把握〕 子どもや利用いただいている方が常に主体的に満足頂いていえるかの検証・改善と報告	会議や園内研修を通して、目指す姿を共有していく（年3回）
	36.保護者との「信頼」の構築	114	〔保護者等のニーズの把握・理解〕 保護者や家族の声を聞き満足度を把握し、職員参加の下、保育・介護・障害福祉サービス改善の取り組みを推進	アンケート内容を具体的にし、より満足していただけるよう努める（年3回）
	37.地域との「信認」の構築	125	〔地域貢献事業の推進〕 社会福祉事業以外の地域における多様（福祉ニーズ以外）な生活課題等、公益的取り組みの実践	地域での会議に参加し、地域における多様な生活課題を把握する（年4回）



令和4年度事業計画書

施設	経営目標	No.	各会議体・委員会・担当者の役割業務（重点目標）	計画
どんぐりの里	35.子ども・高齢者・障害者との「信任」の構築	105	〔虐待を発生させない体制づくり〕 虐待を発生させないことを目的にチェックリストの活用等、職員が「自己」の支援について振り返る機会の提供	質の向上委員を中心に現場における不適切なケア事例を集約し、職員へ周知・啓発する(年12回)
	35.子ども・高齢者・障害者との「信任」の構築	112	〔災害対策〕 非常災害に対する個別の計画を整備し、それに基づく実効性ある訓練の実施	自然災害BCPと新型コロナウイルスに対するBCPに沿った訓練を実施する（年2回）
	39.養成校・福祉を目指す学生との「信頼」の構築	135	〔実習に対する丁寧な対応〕 福祉を目指す学生の「実習」に対し、明確な目標と適切な指導の下、将来の理想の姿に迎えるように援助し、「信頼」の関係を築く	外国人技能実習生に対して、対人援助のポイントを丁寧に指導し、介護の仕事への魅力ややりがいを伝える（年12回）
ういず	35.子ども・高齢者・障害者との「信任」の構築	110	〔発生時の訓練〕 応急処置（ああかいかいほちょうれんこう）、災害時等の避難、感染症対応などの訓練の実施	各災害に対応した訓練を行う（年24回）
	36.保護者との「信頼」の構築	119	〔第三者評価の受審〕 保育・介護・障害福祉サービス提供について、「第三者評価A項目」を用いての自己評価の実践	年に2回の自己評価を行う
	37.地域との「信認」の構築	125	〔地域貢献事業の推進〕 社会福祉事業以外の地域における多様（福祉ニーズ以外）な生活課題等、公益的取り組みの実践	毎月の地域ケア会議に参加し、地域の問題について各専門職と協議する（年12回）
多夢デイ	35.子ども・子ども・高齢者・障害者との「信任」の構築	105	〔困難事例への取り組み〕 障害児の受け入れや課題の多い家族のいる利用者の受け入れ等の困難事例への取り組み	困難事例の受け入れを通して、事業所としての対応力を高める。高齢部門としてではなく、ソーシャル機能として向上を目指す。（訓練事業利用者受け入れ）
	36.保護者との「信頼」の構築	114	〔保護者等のニーズの把握・理解〕 保護者や家族の声を聞き満足度を把握し、職員参加の下、保育・介護・障害福祉サービス改善の取り組みを推進	利用者様の支援を通して、ご家族様の信頼を得られるよう努めていく。どんな事でも相談してもらえらる関係性を意識して関わる（会議/6回）
	37.地域との「信認」の構築	124	〔地域貢献事業の推進〕 社会福祉事業以外の地域における多様（福祉ニーズ以外）な生活課題等、公益的取り組みの実践	地域合同行事の再開を目指す。また新たな取組の検討も引き続き実施。（年2回）

令和4年度事業計画書

施設	経営目標	No.	各会議体・委員会・担当者の役割業務（重点目標）	計画
小花規の模森特養	35.子ども・高齢者・障害者との「信任」の構築	105	〔虐待を発生させない体制づくり〕 虐待を発生させないことを目的に、チェックリストの活用等、職員が自己の「支援」について振り返る機会の提供	質の向上委員を中心に現場における不適切なケア事例を集約し、職員へ周知・啓発する
	37.地域との「信認」の構築	115	〔保護者、地域への説明〕 法人が提供する保育・介護・障害福祉サービス内容について、保護者や地域住民等に対して説明する機会の設定	ご家族に向けてはお便りや広報誌を用いて、地域に向けては運営推進会議において、施設や法人の取り組みについて発信する
	37.地域との「信認」の構築	121	〔地域における福祉文化の醸成〕 育成と活動支援を目的とし、子ども・高齢者・障害者との直接的な関わりを意図した地域ボランティアの積極的な受け入れや、学習の機会づくり	「KOBEシニア元気ポイント制度」を活用したボランティアの受け入れを可能な限り行う
生活夢介護労花支の援森・	35.子ども・高齢者・障害者との「信任」の構築	104	〔子ども・高齢者・障害者満足度の把握〕 子どもや利用いただいている方が常に主体的に満足頂いていえるかの検証・改善と報告	6カ月に1回、アンケートや保護者に来所していただく機会を設ける
	35.子ども・高齢者・障害者との「信任」の構築	112	〔災害対策〕 非常災害に対する個別の計画を整備し、それに基づく実効性ある訓練の実施	想定される大地震や、感染症を想定して訓練を実施したり、都度マニュアルの整備を実施する
	38.地域の学校との「信頼」の構築	133	〔保育・介護・障害福祉サービス内容の研究と実践〕 上記の関わり等連携し、保育・介護・障害福祉サービスの内容を深く研究し専門性を高める	交流の様子や、共生活動により利用者が得るものなどをまとめたり、外部に発信を行う

令和4年度事業計画書

委員会	経営目標	No.	各会議体・委員会・担当者の役割業務（重点目標）	計画
研修委員会	1.専門知識・技術を高める 2.創造力を培う 3.論理的思考を培う 4.継続性を培う 5.コミュニケーションスキルを培う	3	〔学ぶ内容の明確化〕 研修課程（階層別研修メニュー・非正規職員含む）の定期的な見直し	新任研修（OJT）にて、養護面の指導をする（入社時：年1回）
	6.リーダーシップを培う 7.公共心を培う 8.ルール・規範意識を高める 9.他者理解力を高める	3	〔学ぶ内容の明確化〕 研修課程（階層別研修メニュー・非正規職員含む）の定期的な見直し	フィードバック・パワーアップ研修の階層別テーマを検討する（年1回）
	10.忍耐力を培う 11.意欲を高める 12.アイデンティティを築く	6	〔非正規職員研修の企画・運営〕 非正規職員集合研修の企画・運営	TCへの参加を促す（年3回 5・8・11月）
人材確保・定着委員会	13.良質な人材を確保する	13	〔採用ツールの工夫と活用〕 人材確保に向け、採用ツール（パンフレット、チラシ、動画、HP、プレゼンテーション用スライド等）の工夫と、効果的な広報媒体（ウェブサイト、求人広告、学校訪問等）の活用	学校訪問の実施（年5校）
		16	〔リクルートツアの企画・運営〕 効果的な「人材確保」を目的とし、当該年度のみならず、次年度以降の採用を踏まえた、採用ツール等の工夫	参加者・主催側担当者へ向けた満足度調査の実施（調査対象者平均80%以上）
	14.上司、部下、スタッフ同士の関わり の充実	19	〔健全な職場風土の確立〕 人材定着を目的とした、クラブ活動やレクリエーション等の企画・運営	アフターコロナ禍におけるレクリエーション及び余暇活動の検討を行う（年8回）
質の向上委員会	20.受容的環境の確立	52	〔受容的環境の確立〕 人的・物的両面において、受容的環境を確立し、子ども・高齢者・障害者が信頼感と安心感を持って生活できる環境の確立をするための研究と報告	各施設で年3回以上、バイブルブックを活用し「養護と教育」についての園内研修を行う
	21,「自分らしく主体としていきること」を目指す保育・介護・障害福祉サービスの提供	57	〔職員に対しての倫理教育の充実〕 子ども・高齢者・障害者の人権を尊重し、個人の尊厳を守ることの重要性について、職員が認識を深めるよう人権教育等の具体的な取り組みを実施	「養護と教育」についてのバイブルブックを作成し、各施設で年3回以上園内研修を実施し活用していく
	21,「自分らしく主体としていきること」を目指す保育・介護・障害福祉サービスの提供	57	〔職員に対しての倫理教育の充実〕 子ども・高齢者・障害者の人権を尊重し、個人の尊厳を守ることの重要性について、職員が認識を深めるよう人権教育等の具体的な取り組みを実施	技術標準書を各施設で作成していく

令和4年度事業計画書

委員会	経営目標	No.	各会議体・委員会・担当者の役割業務（重点目標）	計画
地域貢献委員会	23.連携によるニーズの把握とスキルの獲得	61	〔CSWの実践〕社会福祉法人連絡協議会での活動を通じ、CSWスキルの獲得、地域ニーズの把握・地域支援の実践	地域貢献委員がほっとかへんネットの活動に参加し、活動内容を委員会内で共有する
	24.地域課題（ニーズ）への対応	68	〔低所得者への配慮〕生活困窮者等、低所得者に対する支援を目的に「認定就労訓練事業」「予期せぬ妊娠」等の就労支援、また、「学習支援」「子ども食堂の運営等に積極的に取り組む	「認定就労訓練事業」の受け入れ、学習支援事業や子どもの居場所づくり事業を展開する
	25.施設主義から機能主義へ	74	〔地域ニーズの把握と対応〕地域住民のニーズ把握とその対応、また、新たな福祉需要への対応住民と共に地域課題を解決するための機会の設定を法人内施設において実践できるようノウハウの確立	地域住民との交流の中からニーズを拾い、そこから課題解決への方法を模索し、ポイント集のような形に作成する
共生社会の創造委員会	26.幼老障共生社会の再構築	77	〔高齢者が主体として生きる場の提供〕高齢者が子どもと障害者とかかわる中で、「主体として生きる」ための環境づくりとその実践報告	高齢者の社会参加に関する制度の把握・理解を促すための周知会議を行う（年2回）
		78	〔幼老障共生の発信〕幼老障共生の意義を地域や関係機関、団体等に発信し私達の活動の理解を深めることを目的に、HPの内容の定期的な更新と、人材確保採用ツール作成への参画	HP更新の仕組みを構築して、更新を行う（年1回）
		79	〔障害者の働く場〕障害者が子どもと高齢者とかかわる中で、「主体として生きる」ための環境づくりとその実践報告	障害者に特化したモニタリング調査の実施を行う（年6事例）
リスクマネジメント	被害規模（ダメージ）を小さくする	29	〔BCM〕保育・介護・障害福祉サービス提供を継続するための体制を整えることを目的に、事業継続計画（BCP）の策定と訓練及びその改善	各施設で自然災害BCP、感染症BCPに沿った訓練を行う
	経済的被害に備える	33	〔コスト意識の醸成〕職員全体のコスト意識を醸成するための取り組みの実践	取り組み強化月間を作成し、リスク委員会から発信していく